

水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	平成30年度	事業者名	WEF 技術開発株式会社
補助事業名	活性酸素による水草分解粉末化とその農業利用		
補助事業結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弊社開発活性酸素発生装置を既製の生ごみ処理装置に組み込んで、水草処理装置を製作、刈り取った水草を、1日で含水率20%以下の乾燥・粉末にすることに成功した。また、オオカナダモ等の一般水草だけでなく、オオバナミズキンバイも再生不可能な粉末状にすることができた。</li> <li>・ 処理粉末を分析したところ、今までの水草堆肥処理に比べて、肥料成分が豊富なことが判明した。</li> <li>・ 今後、この処理物の農業利用等を検討・展開していく。</li> </ul>		
<p>本年度（令和元年度）の状況</p> <p>・ 技術開発等の状況を含む</p>	<p>平成31年度（令和元年度）水草等対策技術開発支援事業の採択を受け、活性酸素処理によりできた生成物の事業化展開を中心に検討、試験を行った。事業化検討・試験は下記4点。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活性酸素による処理機の改造を行い、安定化、省エネ化、処理能力を向上できた。</li> <li>・ 活性酸素処理水草にマグネシウム溶出材（弊社特許）を加えた農業商材を製造し、葉の青さ、果物の糖度をUPさせる試験をした。お茶とイチジクで結果が良かったので、来年度は生産農家での実証試験を計画。</li> <li>・ コンソーシアムを組んで水草研究をしている企業の中の根活アグリ研究所とコラボして、大量処理方法の開発に取り組んだ。2週間で水草を完全堆肥化することに成功し、それを安土農業組合で水田、畑に利用し試験を開始した。</li> <li>・ 活性酸素処理物のガラス工芸利用の提案をいただき、ガラス工芸作家に生成物を供給して、実証試験していただいた。結果は非常に風合いのある緑色のガラス工芸作品が出来上がった。水草を色原料とするガラス工芸品を初めて商品化した。</li> </ul>		
備考			